

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	高崎市立乗附小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数 18
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	
児童数	79	72	59	67	78	67	4	426	

研究の概要

1. 研究主題

深く考え主体的に取り組む児童の育成

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

* 実施学年及び教科を選択した理由を記すこと。
 1・2年生・・・全教科(新さくらプランを活用したTT指導・少人数指導が可能なため)
 3～6年生・・・算数科(特配の教師を活用した少人数指導・習熟度別指導等が可能なため。児童により差の出やすい教科であるため)
 6年生・・・理科・体育(担任の交換による教科担任制を試行)
 3年生以上・・・音楽(専科による教科担任制)

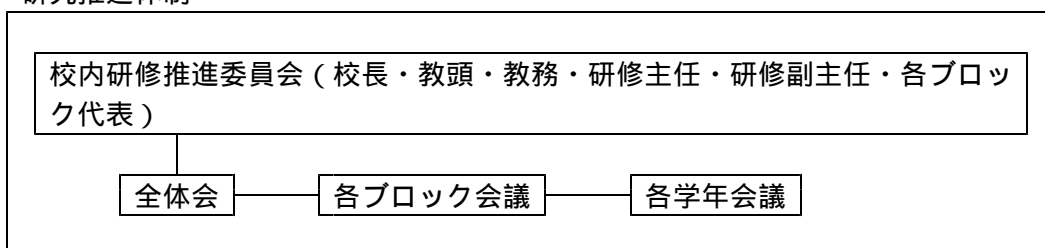
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 深く考え主体的に取り組む児童の育成 研究の見通し(仮説) 算数科において、児童一人一人の理解状況や習熟の程度に応じたきめ細かな指導を実施したり、教材開発を工夫したりして、個に応じた指導を行えば、基礎的・基本的内容が定着し、「確かな学力」が身についていくであろう。 研究の内容・方法 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 少人数指導やTT指導、習熟度別指導やコース別指導を実施 教科担任制の試行 各教科や総合的な学習で地域の方や専門家の方に協力を依頼 個に応じた指導のための教材開発 補充的・発展的な教材の作成 重点単元で習熟度別・コース別指導のための教材の作成 児童の学力の評価を生かした指導の改善 学力テストの考察を指導に活用 授業において振り返りカード(児童)と座席表(教師)を活用</p>
--------	---

平成15年度年度	<p>テーマ</p> <p>深く考え主体的に取り組む児童の育成</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>児童一人一人の理解状況や習熟の程度に応じたきめ細かな指導を実施したり、教材開発を工夫したりして、個に応じた指導を行えば、基礎的・基本的内容が定着し、「確かな学力」が身についていくであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p> <p>少人数指導やTT指導、習熟度別指導やコース別指導を実施</p> <p>教科担任制の試行</p> <p>各教科や総合的な学習で地域の方や専門家の方に協力を依頼</p> <p>生活振り返りカードにより実態を把握し、基本的な生活習慣や学習習慣の指導に活用。</p> <p>個に応じた指導のための教材開発</p> <p>補充的・発展的な教材の作成</p> <p>重点単元で習熟度別・コース別指導のための教材の作成</p> <p>児童の学力の評価を生かした指導の改善</p> <p>学力テストの考察を指導に活用</p> <p>授業において振り返りカード（児童）と座席表（教師）を活用</p>
----------	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <p>深く考え主体的に取り組む児童の育成</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>児童一人一人の理解状況や習熟の程度に応じたきめ細かな指導を実施したり、教材開発を工夫したりして、個に応じた指導を行えば、基礎的・基本的内容が定着し、「確かな学力」が身についていくであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p> <p>個に応じた指導のための教材開発</p> <p>児童の学力の評価を生かした指導の改善</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・2年～5年で教研式NRTを実施。各学年の学習状況（算数・国語）の実態を把握。その結果、平均学力偏差値の平均は各学年とも全国基準値に比べ統計的な有意差はないことが判明。
- ・学年・単元に応じたTT指導や少人数指導、習熟度別指導等の工夫が図られた。児童の学力にあまり差のない低学年の場合、習熟度別指導よりTT指導や少人数指導（名簿順等）のほうが有効と考える。
- ・中学年以上になると少人数指導や習熟度別指導が有効。
- ・教科担任制の試行（6年の理科・体育）は児童に好評であった。
- ・新さくらプランの専門性を生かした音楽（1・2年生）は児童に好評であった。
- ・児童の学習内容の理解度や取り組み意欲が向上した。

2. 今後の課題

- ・指導体制（教科担任制の試行まで含めて）の改善充実。
- ・習熟度別学習のコースによる進度内容と進度調整との関係。
- ・指導者間の共通理解（指導方法・評価・児童情報）を図る体制作り。
- ・基礎学力の定着のための反復学習の時間を確保する校時表の工夫。
- ・習熟度別学習とTT指導、少人数指導の有効性の追求。
- ・児童の変容の継続的な記録。
- ・単元の指導内容にあった教材・教具の作成・工夫。
- ・家庭との連携による学習ルールの指導や家庭学習の指導。

・学力等把握のための学校としての取組

- ・各単元ごとの単元テストの実施
- ・定期的な学力調査の実施

・フロンティアスクールとしての研究成果の普及

【実績】

平成14年度	一般公開	日 時	平成14年11月18日
		場 所	高崎市立乗附小学校
		テーマ	「深く考え主体的に取り組む児童の育成」
		単元名	4年生 算数 「わり算の筆算（2）」
平成15年度	授業公開	日 時	平成15年11月7日
		場 所	高崎市立乗附小学校
		テーマ	「深く考え主体的に取り組む児童の育成」
		単元名	5年生 算数 「面積の求め方を考えよう」

西部教育事務所管内の小学校の研修主任を対象とした公開授業

【予定】

平成16年度	授業公開	日 時	平成16年11月 日
		場 所	高崎市立乗附小学校
		テーマ	「深く考え主体的に取り組む児童の育成」
		単元名	未定

http://ted.city.takasaki.gunma.jp/notsuke_sho/

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無